

＜第1回 若園地域会議 会議録＞

日 時 令和8年4月15日(水) 19:00～20:30
場 所 若園交流館 大会議室
出席者 委 員 13名
事務局 酒井支所長、青井副支所長、松原副主幹、二宮主査
オブザーバー 寺田市議会議員 澤平館長

1 支所長あいさつ及び事務局（地域振興担当）紹介（省略）

2 オブザーバー紹介（省略）

3 第11期（令和8年度）若園地域会議委員の紹介（省略）

4 若園地域会議の予定

事務局から今年度の地域会議の予定について説明

5 協議事項

- ・委員の互選により会長を山本正彦委員、副会長を星野立子委員に決定

6 報告事項

事務局から以下の内容について説明

- (1) 地域自治システムについて
- (2) 令和8年度わくわく事業補助金申請団体について
- (3) たかおかスプリングフェスタ出展について

7 その他連絡事項等

- ・費用弁償の支払いについて事務局から説明
- 次回、口座振込依頼書と通帳コピーを提出

8 新任地域会議委員の方

事務局から、若園地域と4地域合同の地域課題解決事業についての説明

- ・令和7年度 若園地域 提言書
- ・地域課題解決事業 令和7年度実績と令和8年度展開について
- ・スケジュール

＜委 員＞交流館芝生テラスの整備で行ったベンチ製作は、写真に載っているものが全てか。
なぜ、木製にしたのか。

<事務局> 木製ベンチを10基、机を2基製作した。若園交流館の特性を活かし、中学校の木工室を使用した企画を行った。

<委員> 製作したベンチのメンテナンスはどうするのか。

<事務局> メンテナンスについては、地域の工務店の方が講師として関わってくださっているため、必要な際には相談することができる。使用状況にもよるが、5～10年の耐用年数と考えており、消耗品という認識でいる。

<委員> 遊歩道の樹木の伐採は、ちょっと伐採しすぎではないか。環境美化で樹木の下草刈りを実施した時に、伐採は市が実施したと言っていたが、地域会議とは知らなかった。アピール不足ではないか。

<事務局> 逢妻男川沿いの遊歩道は、県の管理となっているため、地域課題解決事業で樹木の伐採、剪定を実施するにあたり、県の規定に沿って実施した。本来、県が年に2回環境整備することになっているが、予算の関係上、実施できていないこともある。事務局で県に出向き、事業説明をした上で実施させていただいた。また、実施前に地域会議から事業内容について自治区回覧も行っている。
時間と共にまた樹木も成長するため、今が一番すっきりしている状況かと思う。

<委員> 伐採は、吉原の方まで延長してやっていただけないものか。

<事務局> 逢妻男川については、県の管理になるため、自治区から工事申請をだしていただきたい。

<委員> ここの川沿いは元々、緑の回廊とあって、県から樹木の苗をもらい遊歩道をドーム型にする予定だった。少しずつ伐採していたが、繁茂し、地域住民から防犯上や安全面の心配の声が挙がった経緯がある。

<委員> 提言の事業について。提言書に若園地域の高齢化率が豊田市の平均よりも高いと記載されているが、今後新しい団地の建設もあり、事情が変わってくるのでは。

<事務局> 昨年度のグループワークでは、高齢者への課題が多く挙げられていた。提言に落とし込んでいく作業の中で、高齢者を中心としつつも、こどもや子育て世代が関係してくるという視点も持っていただいた。サポートブックの更新では多世代向けという内容で協議していただいております、記載項目もそのような内容が挙げられているので確認してもらいたい。

<委員> 提言②については、民生委員の仕事と重なっているところがあるが、民生委員の手が足りないということか。

<事務局> 訪問サポーターについては、民生委員や地域包括支援センターのフォローを行うという活動を想定している。

<委員> 民生委員の意見が聞きたい

<委員> ひとり暮らしの高齢者への訪問は地域包括支援センターの方と連携を取りながら行っている。

高齢者の訪問と言っても、様々なパターンがある。訪問を拒否される方もいる。訪問を希望された方を民生委員15名で分担をしている状況。

<委員> 高齢者の方の訪問では、20分、30分お話をされる方もいれば、訪問が必要な方でも親族が拒否するケースなど様々。訪問していた方が施設に入所していることもある。個人情報のことがあり、民生委員がすべての状況を把握することは困難。地域包括支援センターや支所と連携を取りながら進めている状況。地域会議でも協議を重ねながら、地域全体で高齢者を見守っていくことが必要だと思う。

<事務局> 事業を進める中で、出来ること、出来ないことの制限はある。制限のある中で、先ほど言われたように、民生委員、地域包括支援センター、自治区など横の繋がりを大切にして、若園地域全体の高齢者を見守る力の底上げに繋がって欲しいと思う。提言では、孤立や孤独の解消を目指す姿としている。若園地域として、高齢者の孤立孤独を防ぐための取組みに繋がれば良いと思う。

<市議> 今回、高齢者に関するテーマではあるが、高校生や子育て世代の方が委員に入ってもらっているので、そういった視点から意見を出していただけることに期待したい。

★次回開催 令和8年度第2回定例会 5月20日(水)午後7時～